

## 薬用作物の産地化に向けた活動を紹介

－第8回甘草に関するシンポジウム－

7月15日(土)、山梨県甲州市民文化会館において、[第8回甘草に関するシンポジウム](#)が開催された。

本シンポジウムは

「貴重な薬用資源である甘草に関して、多方面から様々な研究や業務に携わっておられる方々に話題を提供して頂き、それらの情報を共有することで、今後の研究展開や良質甘草の確保のための施策の方向を探る。また、それらの記録をまとめることで、甘草に関する研究や対策の新たな発展を期す。」という趣意のもとで、2001年からほぼ2年に1回のペースで開催してきた。



【会場全景】



【松葉知浩 生薬栽培部会長】

一般市民に公開して行われた特別講演に、日漢協の生薬栽培部会の松葉知浩部会長が登壇した。テーマは「国内生薬実需者ニーズと今後の課題」で、厚労省および農水省と共同して開催してきた「薬用作物の産地化に向けたブロック会議」と、その後継である「薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会」の成果と事例の分析による今後の課題を説明した。

当日は最高気温が36度を超える猛暑日にもかかわらず、熱心な市民の方が多数参加され、講演にうなずきながら聞き入る姿が見られた。